

# かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン

平成28年4月  
かすみがうら市

# かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン 目次

目標	施策(○)・施策名(◇)	ページ	施策推進部署	今後のプランイメージ			
				H28	H29	H30	H31
基本目標1	<b>○第1次産業の活性化</b>						
	◇農業公社等の設立支援	1	地方創生・事業推進担当	調査・研究	調査・研究	検討・実施	評価・実施
	◇法人(企業等)の参入支援	2	政策経営課	調査・研究	検討	実施・評価	実施・評価
	◇新規就農者、新規就漁者への支援	3	農林水産課	調査・研究	検討	実施・評価	実施・評価
	◇地産地消の推進	4	農林水産課/学校教育課/観光商工課/地方創生・事業推進担当	検討・一部実施	検討・実施	実施・評価	実施・評価
	<b>○6次産業化の推進</b>						
	◇販路の拡大	5	政策経営課	検討・実施	検討・実施	評価・実施	評価・実施
	◇付加価値のある加工品の開発	6	観光商工課/農林水産課/地方創生・事業推進担当	検討・実施	検討・実施	評価・実施	評価・実施
	<b>○新たな企業進出の支援</b>						
	◇積極的な企業誘致	7	地方創生・事業推進担当	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価
	◇窓口の一本化	8	地方創生・事業推進担当	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価
	◇都市計画区域の見直し	9	都市整備課	調査・検討	協議	協議	実施・評価
	◇インフラ整備	10	政策経営課	調査・研究	調査・研究	検討	検討
<b>○創業・起業の支援</b>							
◇創業・起業の推進	11	地方創生・事業推進担当	実施・評価	実施・評価	実施・評価	実施・評価	
<b>○就業環境の改善促進</b>							
◇女性の活躍できる場づくり	12	子ども家庭課/地方創生・事業推進担当	調査・一部実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施	
基本目標2	<b>○スポーツによる地域活性化</b>						
	◇自然環境を活かしたスポーツのイベント開催	13	観光商工課/政策経営課/地方創生・事業推進担当	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実	14	観光商工課/政策経営課/地方創生・事業推進担当	調査・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	<b>○体験型観光の推進</b>						
	◇体験型観光の推進	15	観光商工課	検討・一部実施	検討・一部実施	評価・実施	評価・実施
	◇新たな「食」メニューの開発	16	観光商工課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇リピーターの確保	17	観光商工課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
<b>○Uターン定住の推進</b>							
◇子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える	18	地方創生・事業推進担当	研究・実施	検討・実施	評価・実施	評価・実施	
◇住居の確保	19	政策経営課	調査・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施	
基本目標3	<b>○結婚・子育て支援の充実</b>						
	◇婚活支援	20	秘書広聴課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇成婚定住者への助成	21	秘書広聴課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇妊婦等への助成	22	健康づくり増進課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇子育て支援の充実	23	子ども家庭課	調査・検討	実施・検討	評価・実施	評価・実施
	<b>○教育環境の充実</b>						
	◇特色ある教育の実施	24	政策経営課	調査・検討	実施・検討	評価・実施	評価・実施
◇学費負担の軽減	25	政策経営課	調査・検討	実施・検討	評価・実施	評価・実施	
◇非行防止と健全育成の推進	26	生涯学習課	調査・検討	実施・検討	評価・実施	評価・実施	
基本目標4	<b>○コミュニティの活性化</b>						
	◇コミュニティ活動の拠点の確保及び拡充	27	秘書広聴課	調査・研究	検討・実施	評価・実施	評価・実施
	◇地縁的コミュニティの活性化	28	秘書広聴課	調査・研究	検討・実施	評価・実施	評価・実施
	<b>○新たな拠点の整備</b>						
	◇神立駅周辺の開発	29	都市整備課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇千代田石岡インターチェンジ等周辺の活用	30	地方創生・事業推進担当	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇情報発信のための拠点づくり	31	政策経営課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	◇廃校の活用	32	検査管財課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	<b>○災害に備えたまちづくり</b>						
	◇防災体制の拡充	33	総務課/消防総務課	調整・検討	実施・評価	実施・評価	実施・評価
	◇災害マップづくり(危険箇所・災害発生時の避難等)	34	総務課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
	<b>○環境に配慮した暮らしやすい環境づくり</b>						
	◇住居の確保(再掲)	35	政策経営課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施
◇エネルギーの地産地消	36	政策経営課	調査・研究	検討・実施	評価・実施	評価・実施	
◇田舎暮らしの良さ、生活補助、自然との触れ合いの場の提供	37	政策経営課	調査・研究	評価・実施	評価・実施	評価・実施	
<b>○公共交通ネットワーク等の充実</b>							
◇通学しやすい環境づくり	38	政策経営課	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施	
◇生活利便性の向上	39	まちづくり計画担当	検討・実施	評価・実施	評価・実施	評価・実施	

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	① 第1次産業の活性化
施策名	1. 農業公社等の設立支援

施策推進部署：地方創生・事業推進担当  
 関連部署：農林水産課 農業委員会 観光商工課 総務課

○現在の課題

担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。

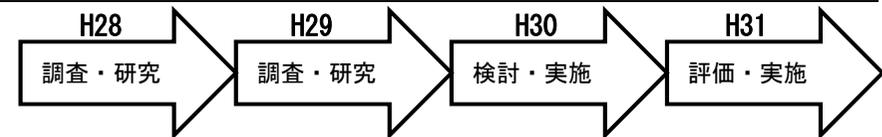
○必要な対応

市内の荒廃農地等を活用し、計画的・効率的な農業経営を実現するため、農業公社等の設立を支援し、またその活動（商品開発、販路拡大、農業機材確保等）を支援する。

- ・荒廃農地の解消
- ・農地集約
- ・新商品開発（日本酒等）
- ・販路拡大の推進（海外輸出・全国うまいもの交流サロン等への参加）
- ・安定した農産物の提供できる仕組みづくり

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地の事例研究や調査等を行い、本市における可能性、方向性（作物・商品）、組織形態の研究。観光協会の法人化と連携した取組として検討する。</li> <li>・荒廃農地等の集約にあたっては、農地中間管理機構の取組みも踏まえ進めていく。</li> <li>・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城と連携するなど、海外へ向けた可能性の調査を実施するほか、首都圏の全国うまいもの交流サロンなどを活用したPRを実施。</li> </ul>
KPI(成果目標)	農業公社等の設立に向けた取組み 進捗率 0%⇒50%	※進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施 策	① 第1次産業の活性化
施策名	2. 法人(企業等)の参入支援

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：農業委員会

○現在の課題

担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。

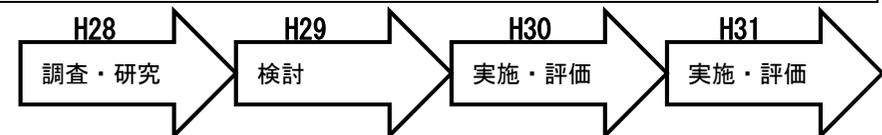
○必要な対応

農地集積バンクを設立し、農地等のあっ旋を行い、新たに農業経営に参入する法人（企業等）へ農地貸出、初期投資等への支援を行う。

- ・農地の確保（貸付希望者とのマッチング）
- ・農地集積バンクの設立
- ・企業等への農地貸出
- ・資金面での支援

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地中間管理機構における取組との調整を図りつつ、未利用農地の掘起こしなど、農地の集積に向けた取組みを実施。</li> <li>・企業等が農業へ参入できるよう、農地バンクのような仲介をする組織の検討。</li> <li>・遊休農地について、利用権を設定する仕組みづくりの検討など。</li> </ul>
KPI(成果目標)	1団体以上の参入	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施 策	① 第1次産業の活性化
施策名	3. 新規就農・就漁者への支援

施策推進部署：農林水産課

関連部署：観光商工課 農業委員会 政策経営課 都市整備課

○現在の課題

担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。

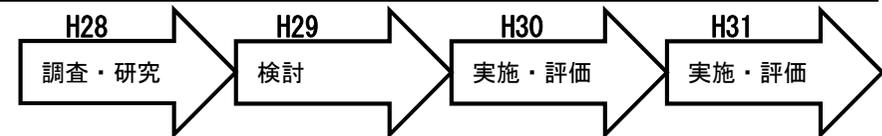
○必要な対応

新たに就農、就漁を促進するため、体験農業や漁業体験等を実施し、気軽に農漁業に触れられるようにするとともに、就農、就漁に対する総合的な支援を実施する。

- ・ 農業体験や漁業体験等の実施（定住・移住促進型クラインガルテン等）
- ・ 農業塾の実施
- ・ 融資制度構築（金融機関等との連携）
- ・ 経営指導・技術指導の強化
- ・ 生活支援制度創設

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農・漁業体験事業を実施するにあたり、技術指導・経営指導者や漁協との調整、圃場の確保を行う。</li> <li>・ 新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋（農地中間管理機構や空き家バンク等の活用など）</li> <li>・ 年間を通じた体験講座の実施検討。</li> </ul>
KPI(成果目標)	新規就農・就漁者数 12人増	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	① 第1次産業の活性化
施策名	4. 地産地消の推進

施策推進部署：農林水産課 観光商工課 学校教育課 地方創生・事業推進担当  
 関連部署：生涯学習課 健康づくり増進課 環境保全課 子ども家庭課

○現在の課題

担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経営の抜本的な見直しが求められている。

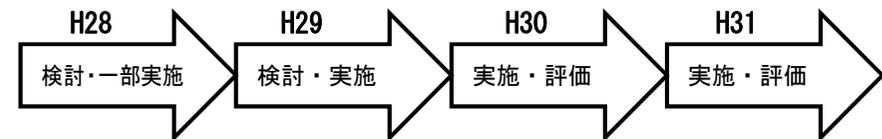
○必要な対応

地元農水産物を積極的に取り扱う市内の飲食店に「特産品認証」を交付するとともに、広くPRし、地元農水産物の地産地消を推進する。また、学校給食等でも積極的に使用し、子どもたちに市内産物を紹介する。

- ・市内農水産物を取り扱う市内飲食店のPR強化
- ・特産品認証の店（飲食店）制度創設
- ・学校給食等で市内農水産物の使用

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度を構築するとともに、湖山の宝巡りパスポートと連携するなど、認証店に対しては積極的なPRができるよう進めていく。</li> <li>・交流センターを活用し地場産品を使ったレストラン事業の実施。</li> <li>・地場産品の学校給食での使用割合を高める取組み。</li> <li>・子どもたちを対象とし、地元産物や食育、循環型社会の取組みについて、教育できる場づくりを進める。</li> </ul>
KPI(成果目標)	特産品認証店 4店舗	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施 策	② 6次産業化の推進
施策名	1. 販路の拡大

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：観光商工課 農林水産課

○現在の課題

豊富な農水産物を有しているにもかかわらず、首都圏など消費地へのPRや販売の面で十分とはいえない状況である。また、本市民に対してもこれら地域資源の周知ができていない。

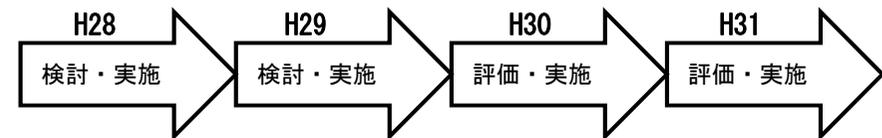
○必要な対応

市内農水産物の販路拡大を図るため、消費先である首都圏における商品等PRイベント等を実施する。また、販路拡大のための設備等の導入支援を行う。

- ・首都圏へのPR（交流イベント等）
- ・シティプロモーション・交流の推進
- ・海外輸出に関する調査検討
- ・販売支援共同設備等導入支援

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シティプロモーションの推進を実施し、PRの強化に努める。特にちよだフードバレーネットワークや産業能率大学等との連携を継続し、首都圏でのイベントに参加するなど、本市農水産物の宣伝を実施する。</li> <li>・首都圏の「全国うまいもの交流サロン」への参加。</li> <li>・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城と連携するなど、海外へ向けた可能性についても調査を行う。</li> <li>・収穫した農水産物については、保存技術により出荷の時期を遅らせるなど、商品の付加価値をあげられるような保存設備等の導入に対する支援の検討を行う。</li> </ul>
KPI(成果目標)	設備 1か所、交流人口 2,000人（交流イベント等参加者）	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	② 6次産業化の推進
施策名	2. 付加価値ある加工品の開発

施策推進部署：観光商工課 農林水産課 地方創生・事業推進担当  
 関連部署：政策経営課 健康づくり増進課

○現在の課題

豊富な農水産物を有しているにもかかわらず、首都圏など消費地へのPRや販売の面で十分とはいえない状況である。また、本市民に対してもこれら地域資源の周知ができていない。

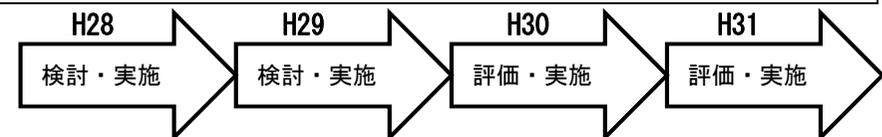
○必要な対応

市内農水産物の他商品との差別化を図るとともに、収益性の高い商品開発を行う取組み（研究開発、新規設備投資等）を支援し、本市の特産品「湖山の宝」として育成するとともに、積極的に情報発信を行う。

- ・開発支援（大学等との連携、メニュー開発、規格外品の加工商品化）
- ・生産者の組織化によりブランディング推進
- ・新たな加工場や設備の整備に対する支援（助成）
- ・湖山の宝に関する情報発信強化

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産官学連携による新たな加工品の商品化に向けた取組みを実施。また、これら取組を実施する事業者に対してのハード支援を行う。</li> <li>・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴う、果樹を使った加工品の開発、販売</li> <li>・新商品については、湖山の巡りパスポートとの連携をするなど、積極的なPRの実施、細かな情報の提供を行う。</li> </ul>
KPI(成果目標)	新商品 20品目 (※湖山ブランド5品×4年)	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標 1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施 策	③ 新たな企業進出の支援
施策名	1. 積極的な企業誘致

施策推進部署：地方創生・事業推進担当  
 関連部署：税務課

○現在の課題

利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を十分に生かした企業誘致が求められている。

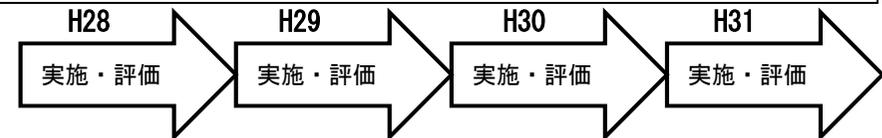
○必要な対応

現在展開している企業立地促進助成金や空き工場等のあつ旋を図り、市内への新たな企業進出を促進する。

- ・ 企業立地促進助成金の拡充（税制を含めた優遇措置）
- ・ 本社移転の場合は現行制度に上乘せ
- ・ 工業団地内等において空き工場や空き土地のあつ旋

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容	企業立地促進助成金(小松崎商事株式会社) ・ 設備投資助成 25,382,000 円 ・ 雇用助成金 1,800,000 円  ※固定資産税免除 小松崎商事株式会社 融資利子補給金 オートリブ(株)	・ 本社機能を含めた企業の移転等に対し、これまでの助成制度の上乗せを検討し、更なる立地推進を進める。 (本社機能移転の際の上乗せ、投下設備投資額上限の緩和など) ・ 工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あつ旋やマッチングを行う。 ・ 現在立地している企業の拡大については、用地の確保に努めるなど引き続き支援を行う。  ※ 設備投資助成 H29 年度 山田製薬(株)
KPI(成果目標)	本社 1 社、本社以外 1 社、新規雇用 30 人、新たな設備投資をする企業数 5 社	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	③新たな企業進出の支援
施策名	2. 窓口の一本化

施策推進部署：地方創生・事業推進担当  
 関連部署：

○現在の課題

利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を十分に生かした企業誘致が求められている。

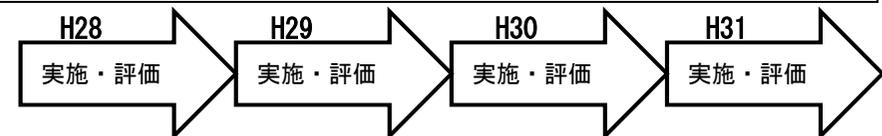
○必要な対応

市内の企業立地に適している土地について情報収集、情報発信を行う。また、進出希望企業に対して意向を把握するとともに、相談や支援手続きをワンストップ化できるよう体制づくりを行う。

- ・コンシェルジュ配置
- ・企業の意向調査
- ・立地場所のPR（ポスター・チラシ・HP等）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致やシティプロモーションとしてのPR用パンフレットの作成</li> <li>・企業誘致・創業支援等専用HPの構築（空き土地・空き工場の物件情報の提供含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンシェルジュを配置し、企業立地や創業等の相談をできるよう体制づくりを行う。</li> <li>・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あっ旋やマッチングを行う。</li> <li>・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向けた取組みを行う。</li> </ul>
KPI(成果目標)	コンシェルジュ 1人	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施 策	③新たな企業進出の支援
施策名	3. 都市計画区域の見直し

施策推進部署：都市整備課

関連部署：政策経営課 農林水産課 農業委員会

○現在の課題

利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を十分に生かした企業誘致が求められている。

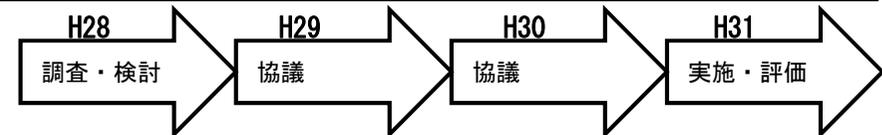
○必要な対応

神立駅周辺やインターチェンジ周辺など、新たに企業進出が可能となるよう都市計画の見直しに関する検討、県等との協議を進める。

- ・用途地域見直し（工専地域等の拡大）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・向原工業団地をはじめとした工業専用地域の見直しに向けた取組みを進め、既存企業の敷地拡大等の要望に対応する。  既存企業等の要望確認・農振の見直し・工専地域の拡大など
KPI(成果目標)	工専地域 10ha 拡大	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	③ 新たな企業進出の支援
施策名	4. インフラ整備

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：都市整備課

○現在の課題

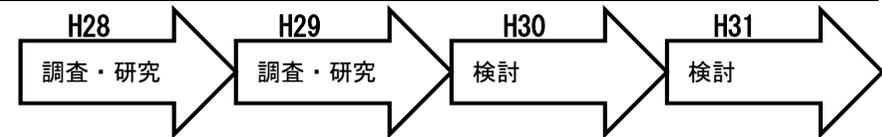
利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を十分に生かした企業誘致が求められている。

○必要な対応

市内の遊休地等へ新たな企業進出が想定できる地区については、関係者との協議を進めながら、インフラ等の整備を実施する。  
 ・立地に必要なインフラについて優先的に整備する。（スマートインター等の整備）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートインター整備に向けた調査・研究、場所の検討やNEXCOとの協議。</li> <li>・新規の企業誘致だけでなく、立地企業の拠点化の推進。</li> </ul>
KPI(成果目標)	スマートインター設置に向けた取組み 進捗率 0%⇒50% ※進捗率 50%（方向性・取組みの検討） 新規参入企業数 1社	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	④ 創業・起業の支援
施策名	1. 創業・起業の推進

施策推進部署：地方創生・事業推進担当

関連部署：秘書広聴課 生涯学習課 健康づくり増進課 子ども家庭課

○現在の課題

雇用の創出を目的とした創生施策に対し、現在は創業に対する支援制度を設けておらず、本市への創業者受け入れ態勢が整っていない。

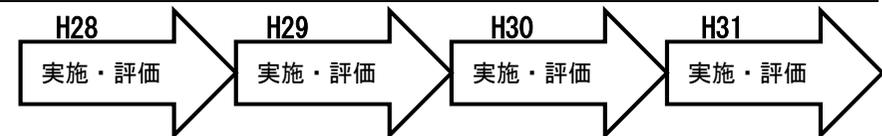
○必要な対応

地域資源等活用した創業・起業・第二創業を推進するため、相談窓口の設置、セミナー等の開催、専門家（商品企画、販促、金融等）等による支援体制の構築を行う。また、国の制度等を活用しながら、初期投資経費の一部を助成する。

- ・ 創業支援事業計画策定による創業支援
- ・ 相談窓口設置（ワンストップ窓口）
- ・ 創業塾・講演会・セミナー等の開催
- ・ 専門家による支援の制度化
- ・ 事務所のあつ旋
- ・ 創業支援助成制度創設（H29～）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	かすみがうら市創業支援事業計画の策定 産業競争力強化法に基づく計画認定 H28. 1. 13 相談業務の開始 H27. 2. 1～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創業支援事業計画に基づき、創業・第二創業・新事業展開に対する支援（創業支援補助制度）の実施。</li> </ul> <p>○認定連携創業支援事業者 かすみがうら市商工会 ㈱日本政策金融公庫土浦支店 茨城県信用保証協会土浦支店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワンストップ窓口の確立と支援制度の周知</li> </ul>
KPI(成果目標)	創業・起業 56社（※14社×4年）	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標1 かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

施策	⑤ 就業環境の改善促進
施策名	1. 女性の活躍できる場づくり

施策推進部署：子ども家庭課 地方創生・事業推進担当  
 関連部署：秘書広聴課

○現在の課題

女性が就労しやすい環境づくりができておらず、休職などの復帰等がスムーズに行われていない。

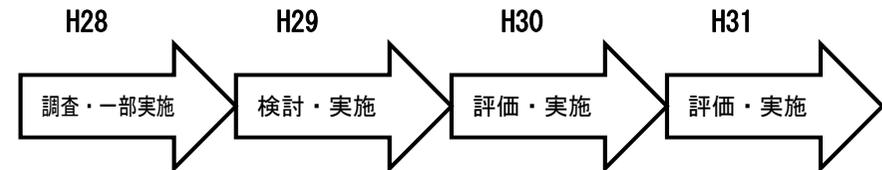
○必要な対応

本市出身の若者（特に女性）がUターンし市内で就職ができるよう、女性が就労しやすい環境づくり（託児所設置や産休・育休制度等）を行う企業を支援する。また、若者（特に女性）に対して、商工会との協働により市内産業の情報発信等を積極的に実施する。

- ・企業等の託児所設置等の充実・設置補助
- ・若者が就労しやすい環境づくり
- ・市内産業の情報発信や就職セミナー等の開催

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等の託児所設置可能性の調査、助成制度の検討。</li> <li>・若者（特に女性）が就労しやすい環境づくりを進めるため、企業等の雇用情報の収集を進める</li> <li>・女性のための復職支援セミナー等の開催</li> <li>・同窓会をきっかけとして、Uターンを考えている方に対し、地元での就職や起業などのあつ旋・支援を行うための体制構築を行う。この同窓会を開催するにあたり、地元に残っている中心となる人を中心に「呼びかけ隊」を結成、30代の同窓会名簿の作成、企画会社協働による「呼びかけ隊」の構築、また、雇用創出のための関係者・協力者への調整等を行う</li> </ul>
KPI(成果目標)	託児所設置箇所数 5か所	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施 策	① スポーツによる地域活性化
施策名	1. 自然環境を活かしたスポーツのイベント開催

施策推進部署：観光商工課 政策経営課 地方創生・事業推進担当  
 関連部署：秘書広聴課

○現在の課題

交流人口の増加に対する施策として、現在はエンデューロといったイベントがあるが、その他、地域資源を活用したイベントが少ない。また、イベントごとの連携（情報共有）が図れていない。

○必要な対応

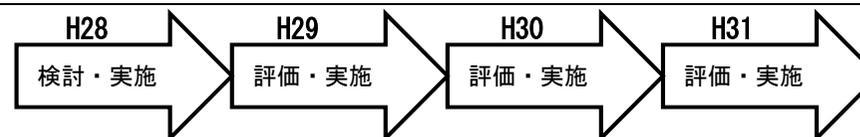
現在実施しているかすみがうらエンデューロでのノウハウを活かし、地域特産品の販促活動と一体となったツアー企画やイベント開催を行い、交流人口の増加を図る。

- ・サイクリングプログラムを核とした地域活性化 DMO 推進事業
  - ① 域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業    ② 地域の特産物を活かしたレストラン事業
  - ③ フルーツなど地域資源を活用した6次産業化事業    ④ 地域内での交流を促進するシェアスペース運営事業
  - ⑤ PR 並びに情報発信・広告宣伝、地域での雇用促進・人材育成事業    ⑥ データ収集・分析
- ・トレッキングイベントの開催

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容	地域資源活用サイクリングプログラム等開発業務委託実施 サイクリングコース・イベントプログラムの検討  トレッキングコースの調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業 事業実施にあたって民間が主体となり法人の設立を行い、交流センターを拠点とし、関連する様々な事業を展開する。</li> <li>・トレッキングコースの整備を行うほか、モニターツアーの実施をするなど、イベントの実施に向け準備を進める。</li> <li>・パンフの作成、アプリ開発等の検討。</li> <li>・かすみがうらエンデューロ・グルメフェスの開催</li> </ul>
KPI (成果目標)	交流人口 5,600 人増加    講座開講 8 回    イベント開催 4 回	

(サイクリング) 600 人×4 年    (トレッキング) 600 人×4 年  
 イベント 100 人×4 回    講座 50 人×8 回



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施 策	① スポーツによる地域活性化
施策名	2. ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実

施策推進部署：観光商工課 政策経営課 地方創生・事業推進担当  
 関連部署：

○現在の課題

交流人口の増加に対する施策として、現在はエンデューロといったイベントがあるが、その他、地域資源を活用したイベントが少ない。また、イベントごとの連携（情報共有）が図れていない。

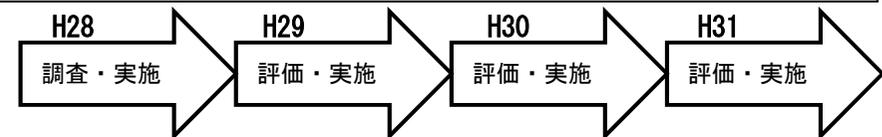
○必要な対応

山・湖などの地域資源を活かしたスポーツによる集客を促進するため、安全で快適に利用できるサイクリング・トレッキングコースや拠点となる施設の整備を行う。

- ・案内標識、トイレ、サイクルラックや空気入れ等の施設整備
- ・インバウンドに向けた外国語の案内表示、Wi-Fi 等の整備の充実
- ・雪入ふれあいの里公園などを拠点としたトレッキングコース・施設の整備

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容	地域資源活用サイクリングプログラム等開発業務委託実施 サイクリングコース・イベントプログラムの検討 (再掲)	・ソフト面の検討に併せて、ハード面として、標識をはじめとした施設（サイン等）、コースの整備を行う。また、サイクリングについては、休憩箇所におけるサイクルラック等の設置やシャワー室、バーベキュー場の整備検討を行う。 ・サイン整備の際にはインバウンド対応を踏まえたものとする。
KPI(成果目標)	施設 1ヶ所	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施 策	② 体験型観光の推進
施策名	1. 体験型観光の推進

施策推進部署：観光商工課  
 関連部署：農林水産課 政策経営課

○現在の課題

観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要である。

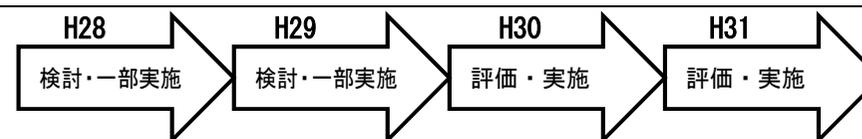
○必要な対応

本市の強みでもある観光果樹園をはじめ体験型農業、漁業のイベントを開催し、本市の自然資源や特産品を知ってもらう。また、一時的な観光ではなく、繰り返し訪れたいくなるよう、貸農園や宿泊施設（民泊等）の整備を進める。

- ・ 農業体験（観光果樹園含む）、漁業体験の充実
- ・ 体験型農場の整備及び貸農園の整備
- ・ 体験型観光の宿泊場所の整備（民泊等）
- ・ 体験型観光マップ、ルート作成
- ・ 体験イベント（収穫祭等）の開催
- ・ 霞ヶ浦の遊覧・筑波山系の散策の機能充実
- ・ 観光協会の法人化の検討
- ・ 筑波山地域ジオパーク構想を活用した地域づくりの連携事業

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊覧イベントの実施に向けた取組み</li> <li>・ 観光協会の事業拡大に向け、法人化へ向けた取組みを検討。</li> <li>・ 体験型観光を実施していくにあたっては、貸農園、技術指導者、圃場等の確保といった調整を行う。</li> <li>・ 筑波山地域ジオパーク推進協議会による、PV やマップの作成（協議会事業として実施）。</li> </ul>
KPI(成果目標)	体験者数 1,000 人	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施策	② 体験型観光の推進
施策名	2. 新たな「食」メニューの開発

施策推進部署：観光商工課  
 関連部署：政策経営課 健康づくり増進課 農林水産課

○現在の課題

観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要である。

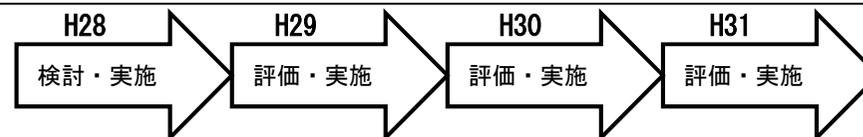
○必要な対応

本市の特産品を使用した新たな「食」メニューについて、大学や専門家等との協力体制を構築しながら開発を進める。また、首都圏への情報発信を強化するとともに、食の文化祭等の開催による話題づくりを行う。

- ・大学や専門家と協力しながら、新たなメニューの開発
- ・飲食店マップの作成（SNSを活用した情報発信等）
- ・地域資源の掘り起こし（食の文化祭、食のコンテスト等）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴うレストラン事業において、メニュー開発等を行う。</li> <li>・市内飲食店マップを作成、「湖山の宝巡りパスポート」などを利用し、情報発信を行う。</li> <li>・大学や専門家と連携した地域食材の料理を開発し、様々なコンテンツを利用してPRする。</li> <li>・イベントにあわせ、地域食材を使った料理コンテストを開催、優秀作品を地元の店のメニューに入れてもらうなど検討する。</li> </ul>
KPI(成果目標)	新規作成5食(種類) ※地元産品を活用したメニュー等の開発	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施 策	②体験型観光の推進
施策名	3. リピーターの確保

施策推進部署：観光商工課  
 関連部署：

○現在の課題

観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要である。

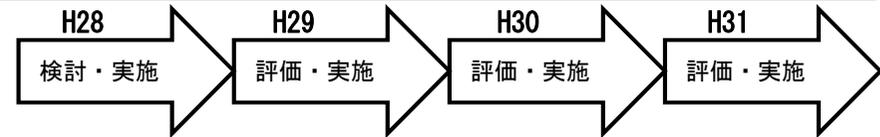
○必要な対応

本市の特産品や観光資源などを好きになってもらい、何度も訪れてみたくなるよう「湖山の宝巡りパスポート」のさらなる活用を図り、観光情報の発信やクーポンやポイント制度等のサービス機能の充実を図り、交流の活発化につなげる。

- ・湖山の宝巡りパスポートの普及啓発
- ・観光情報等の情報発信、スポーツイベントの参加者など、他の施策で得られた情報の共有及び活用

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴う PR 並びに情報発信・広告宣伝事業の実施</li> <li>・様々なイベント、サイクリング、観光等の紹介として、湖山の宝巡りパスポートを活用していく。</li> <li>・登録者(かすみがうら市のファンクラブ)の増加を目指す。</li> </ul>
KPI(成果目標)	登録者数 1,000 人	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施策	③ Uターン定住の推進
施策名	1. 子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える

施策推進部署：地方創生・事業推進担当  
関連部署：学校教育課

○現在の課題

地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。

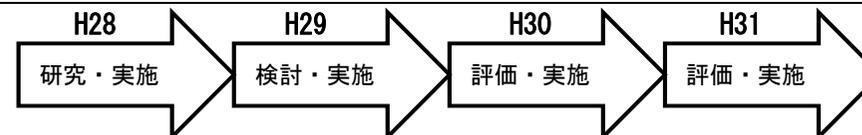
○必要な対応

進学等で市外へ出て行く子どもたちも就職等でUターンしてくるよう中学生を対象とした教育プログラムを構築し、まちづくり教育やキャリア教育を行い、地方創生に関するスキルアップを図る。

- ・学校への出前事業の開催
- ・まちの未来を考えるワークショップ
- ・地場産品や歴史文化を題材としたキャリア教育

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	①子どもたちが理解しやすい教材・コンテンツの検討・作成 地方創生といったキーワードに関するマンガ・映像教材等の製作、専門家・関係者・協力者等との調整、ヒアリングの実施 ②地方創生に関する「出前授業」の検討 専門家を派遣し中1年生を対象に分かりやすい授業の実施 ③「子どもミライワークショップ」・地元企業や事業者による「キャリア教育プログラム」(全3回程度)の企画検討  H29年度より検討した②③を実施。
KPI(成果目標)	18歳定住率 維持	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標2 地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

施策	③Uターン定住の推進
施策名	2. 住居の確保

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：

○現在の課題

地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。

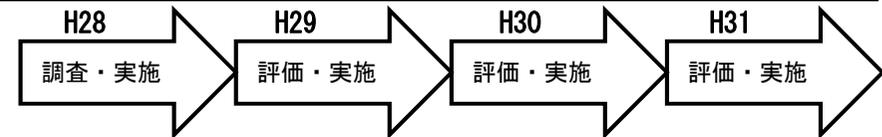
○必要な対応

現在実施している空き家バンク制度の助成対象の拡充等を図り、良質な空き家を確保するとともに、情報提供を強化しUIJターンで新たに住居を求める人たちの定住を促進する。また、活用できそうな空き家の掘り起しについて、地域住民との協力体制を構築する。

- ・空き家バンク物件修繕補助（現行20万円上限）の拡充
- ・空き家バンク物件募集（ポスター・チラシ・広告等）
- ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。</li> <li>・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のPRを実施していく。</li> <li>・リフォーム助成金の拡充の検討。</li> </ul>
KPI(成果目標)	空き家バンク成約数 20件	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施策	① 結婚・子育て支援の充実
施策名	1. 婚活支援

施策推進部署：秘書広聴課  
 関連部署：農林水産課 地方創生・事業推進担当

○現在の課題

地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。

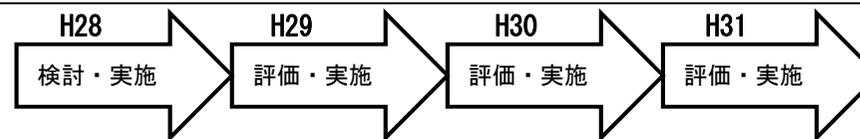
○必要な対応

若者の結婚希望をかなえるため、出会いの場、きっかけを提供する。出会いの場については、商店街との協働で実施する街コン、同窓会や市内産業（同郷会）との協働で実施する赤い糸パーティーなど、企画運営を行う。

- ・ 出会いの場の提供
- ・ 婚活パーティーの実施、街コンの開催（歩いて行けるお店）
- ・ 同窓会の開催の協賛及び支援

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・ サイクリングプログラムを活用した婚活イベントの検討 ・ 赤い糸パーティーの実施 30代の本市出身者を対象に取材、赤い糸パーティーのパンフレット企画、印刷送付、企画会社協働によるパーティー企画運営、参加者カルテの作成
KPI(成果目標)	成婚定住者数 10組	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施策	①結婚・子育て支援の充実
施策名	2. 成婚定住者への助成

施策推進部署：秘書広聴課  
 関連部署：政策経営課

○現在の課題

地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。

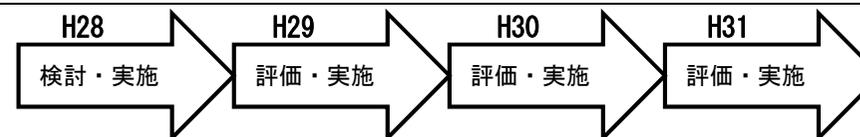
○必要な対応

婚活パーティー等をきっかけに成婚し、市内に居住することになった者に対して、結婚祝い金を支給する。

- ・成婚へのお祝金（新築および空き家バンク等による定住）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・定住・Uターンの生活相談支援体制・助成事業の検討 ・成婚・定住のお祝金制度の検討
KPI(成果目標)	成婚定住者数 10組（再掲）	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施 策	①結婚・子育て支援の充実
施策名	3. 妊婦等への助成

施策推進部署：健康づくり増進課  
 関連部署：

○現在の課題

地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。

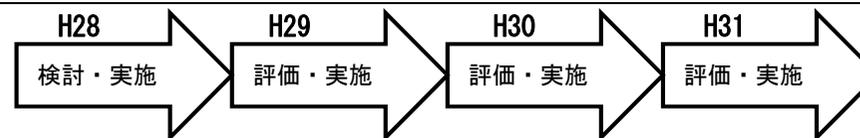
○必要な対応

妊婦の経済的負担や不安を軽減するため、通院費用を助成する。また、高額な費用を要する不妊治療に係る助成の充実を図り、出産に対する希望をかなえる。

- ・妊婦への助成
- ・不妊治療への助成の拡充

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療に対しての助成拡充、茨城県の戦略においても不妊治療費助成事業については記載しているため、それらを踏まえた拡充策を検討。</li> <li>・妊婦の不安を軽減するため、通院にかかる費用(タクシーなど)助成制度についても検討する。</li> </ul>
KPI(成果目標)	満足度・住みやすさ 50%	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施 策	①結婚・子育て支援の充実
施策名	4. 子育て支援の充実

施策推進部署：子ども家庭課  
 関連部署：都市整備課 健康づくり増進課 政策経営課

○現在の課題

地元への愛着度が低く、特に20代～30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転出が目立っている。

○必要な対応

子育て時期の経済的負担を軽減するため、支援の充実に向けたポイント制導入の仕組みづくりを進める。また、保育所の入所制度を見直すなど、母親の職場復帰を円滑にできるようにする。

・ポイント制の導入等（転入ポイント・結婚ポイント・出産ポイント）・保育所の入所予約制導入に向けた検討

仕事と子育ての両立を円滑に行えるよう、出産や子育てに対する就業環境の改善、支援制度の充実、及びそれを実践している企業を広くPRするとともに、その取組みに対する支援を行う。

・子育て奨励企業への補助（育児休暇取得推奨等） ・育児休業時の助成 ・育児中の短時間就労等

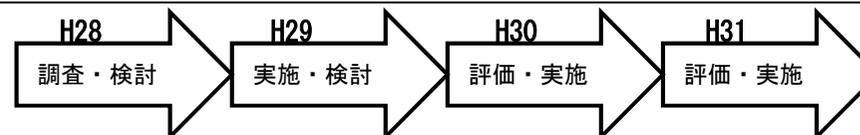
親子が気軽に集うことができる交流の場、既存施設の利用促進（条件緩和等）、アスレチックなどのある公園を整備する。また、子育てに関する不安解消に向け、子育て世帯の交流促進に努め、その活動支援を行う。

・公園や図書館等の環境の充実整備 ・子育て相談窓口の充実（ワンストップ化、情報発信強化） ・ママ友の集える場所づくり

・子育て世代の交流促進（活動支援） ・やまゆり館の利用促進（利用時間の延長、対象年齢の緩和等）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・成婚・出産・育児の節目におけるポイント制導入に向けた検討。（ポイントを利用し、入学時用意品の購入に充てるなど） ・企業と連携し、育児休業や子育て中の方に対する制度充実に向けた取組みを行う。 ・やまゆり館で実施している子育て拠点事業のような取組みを、霞ヶ浦地区でも実施可能か検討する。また、保育所で既に実施している拠点事業を含めた事業の情報発信を行う。 ・市街化区域における公園や図書館の設置に向けた調査研究。 ・保育所の予約制度導入に向けた調査検討。 ・切れ目のない支援を目的とした窓口の一本化【(仮)子育て支援センターの設置検討等。】
KPI(成果目標)	満足度・住みやすさ 50%(再掲)	都市公園設置に向けた取組み 進捗率 0%⇒50% ※進捗率 50% (方向性・取組みの検討)



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施 策	②教育環境の充実
施策名	1. 特色ある教育の実施

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：学校教育課 生涯学習課

○現在の課題

転出者が多い状況の理由の一つに、「学力が高く教育の充実している自治体に魅力度が高い」ことが挙げられている。

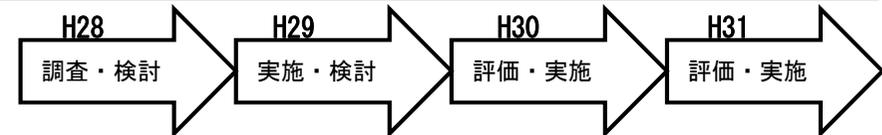
○必要な対応

本市の特性を活かした学習・教育プログラムを展開し、子どもの個性を伸ばし、将来の本市の発展に寄与する人材を育成する。特に、英語や理数科に対する興味・関心を高めるための体験・実験授業の充実、地元産業との協働によるキャリア教育などを展開する。

- ・英語教育、理数教育等の充実
- ・地元産業との連携によるキャリア教育（就労体験）

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究</li> <li>・三校連(下稲吉中・下稲吉小・下稲吉東小)で実施している、放課後・土曜日学習支援などとの連携</li> <li>・子どもミライプロジェクト【再掲】</li> </ul>
KPI(成果目標)	6～23 歳人口割合 16.8%の維持 ※6～23 歳人口割合 16.8% [平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳より算出]	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施 策	②教育環境の充実
施策名	2. 学費負担の軽減

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：学校教育課

○現在の課題

少子化の原因の一つに「子育てにお金がかかる」といった経済的な不安が挙げられている。

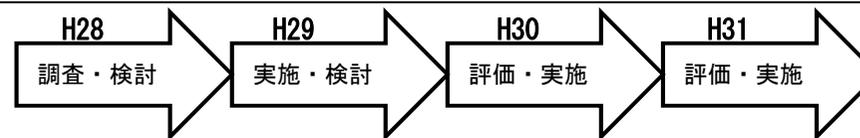
○必要な対応

子育て時期の経済的負担を軽減するため、本市独自の奨学金等の制度づくり、通学に対する支援を行う。また、子どもたちの学習意欲を高めるよう学習施設等の充実を図る。

- ・奨学金制度の仕組みづくり
- ・通学定期券の助成
- ・学習施設や環境の確保・充実

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市独自の奨学金制度の仕組みを検討</li> <li>・中学生～大学生を対象とした通学定期券の助成制度を創設（H28 年度に制度設計）</li> <li>・学習できる環境をつくるため、公的施設等の活用の検討。</li> <li>・学習支援ボランティアの検討。</li> </ul>
KPI (成果目標)	6～23 歳人口割合 16.8%の維持(再掲)	※6～23 歳人口割合 16.8% [平成 27 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳より算出]



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

施 策	②教育環境の充実
施策名	2. 非行防止と健全育成の推進

施策推進部署：生涯学習課  
 関連部署：学校教育課 総務課

○現在の課題

学力が高く、教育の充実している自治体に対する魅力度が高いため、転出者が多い状況である。また、子育てにお金がかかるといった経済的な不安から少子化となっている。

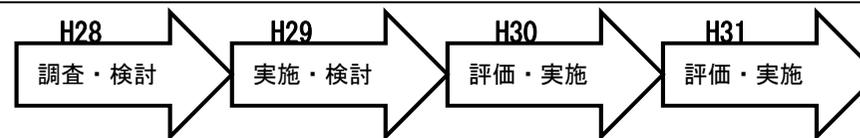
○必要な対応

青少年の非行防止と健全育成を推進するため、各種団体と連携しスポーツの推進を図る。また、地域住民の協力のもと、地域でのパトロールなど青少年育成活動を積極的に行う。

- ・スポーツクラブの充実
- ・地域住民の協力によるパトロールの強化

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の非行防止と健全育成推進施策の検討。</li> <li>・各種団体との連携及び施策の検討。</li> </ul>
KPI(成果目標)	地域見守り隊 3 団体	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	① コミュニティの活性化
施策名	1. コミュニティの活動の拠点の確保および拡充

施策推進部署：秘書広聴課  
 関連部署：生涯学習課

○現在の課題

少子高齢化の進展に伴い、地域の活動が減少しコミュニティの希薄化が懸念されている。

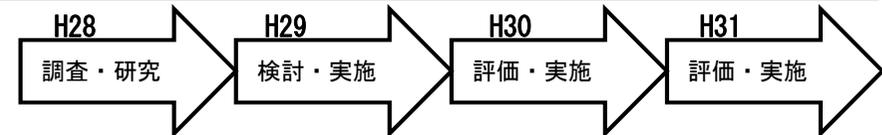
○必要な対応

地域コミュニティ活動を活性化するため、地域内に立地する民間施設等を有効活用できる仕組みづくりを行う。また、その施設活用に対する助成を行う。

- ・地域・民間施設の有効活用
- ・施設活用時の支援・助成等

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	/	・近隣市での取組みを参考としつつ、市民活動、地区公民館活動、地域防災等も考慮した総合的なコミュニティとしての体制づくりを目指すなど、地域コミュニティ活動の活性化に向け、本市としての新たな方向性を見出していく。
KPI(成果目標)	地域のリーダー育成 40人(年10人)	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	①コミュニティの活性化
施策名	2. 地縁的コミュニティの活性化

施策推進部署：秘書広聴課  
 関連部署：生涯学習課

○現在の課題

少子高齢化の進展に伴い、地域の活動が減少しコミュニティの希薄化が懸念されている。

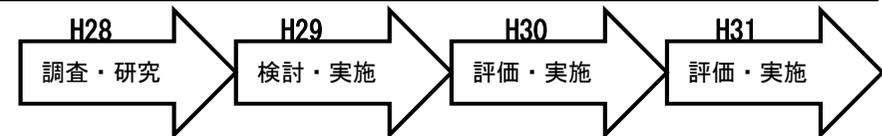
○必要な対応

地域コミュニティ活動を維持継続するため、地域リーダー養成講座等の開催を行うとともに、地域での活動を支援する。

- ・社会貢献活動の実施
- ・養成（出前）講座等の展開
- ・リーダーの育成と確保
- ・市民協働的な活動の推進

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・近隣市での取組みを参考としつつ、市民活動、地区公民館活動、地域防災等も考慮した総合的なコミュニティとしての体制づくりを目指すなど、地域コミュニティ活動の活性化に向け、本市としての新たな方向性を見出していく。
KPI(成果目標)	地域のリーダー育成40人（年10人）（再掲）	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	② 新たな拠点の整備
施策名	1. 神立駅周辺の開発

施策推進部署：都市整備課  
 関連部署：政策経営課

○現在の課題

市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。

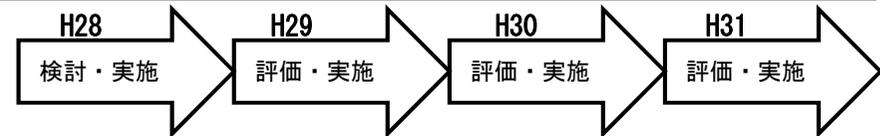
○必要な対応

神立駅周辺の整備に併せて良好な住宅市街地の形成に向けた取組みを進める。また、UIJターン者の移住・定住を促進するため、都市機能の充実を図る。

- ・神立駅周辺・停車場線の整備に合わせた土地利用の見直し
- ・区域の見直しによる住宅用地の確保
- ・コンパクトシティの構築等（駅を中心としたもの）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途区域の見直しを進め、停車場線沿い両側 30mを第1種住居区域に変更する。このことで、住宅だけではなく店舗等の建築も可能となる。</li> <li>・駅前開発に併せ、JR 神立駅を中心としたコンパクトシティに向けた検討。</li> </ul>
KPI(成果目標)	用途区域の見直し 1箇所	神立駅を中心とした住宅用地面積 5ha 増



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	② 新たな拠点の整備
施策名	2. 千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用

施策推進部署：地方創生・事業推進担当  
 関連部署：都市整備課 政策経営課

○現在の課題

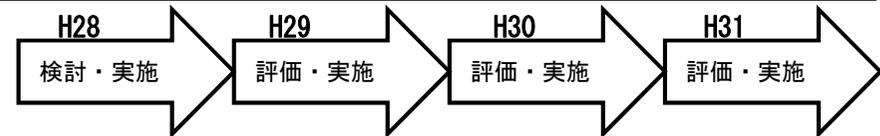
市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。

○必要な対応

高速交通網に近接という利便性を活かした土地の有効活用を推進する  
 ・企業誘致（流通拠点）に向けた土地利用の検討

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>千代田石岡インターチェンジ周辺について、流通業の進出を可能としているエリアという点も踏まえ、企業誘致に向けた取組みを進めていく。</li> <li>土地状況の確認、地権者への接触。誘致へのPR。</li> </ul>
KPI(成果目標)	拠点整備に向けた取組み	進捗率 0%⇒50% ※進捗率 50%(方向性・取組みの検討)



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	②新たな拠点の整備
施策名	3. 情報発信のための拠点づくり

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：情報広報課

○現在の課題

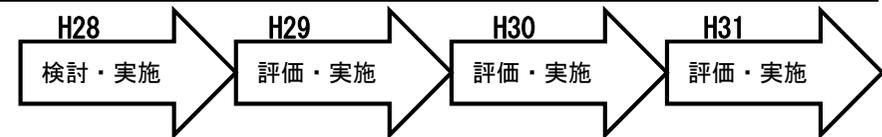
市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。

○必要な対応

茨城空港からの誘客など、国内外からの観光客誘引を目的とした拠点づくりを検討していく。  
 ・市をPR(情報発信)するための拠点(道の駅、直売所など)づくりの検討

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・国道6号線の千代田石岡インターチェンジ周辺や国道354号線沿いなど、情報発信拠点づくりについて調査研究を進めていく。
KPI(成果目標)	拠点整備に向けた取組み	進捗率 0%⇒50% ※進捗率 50%(方向性・取り組みの検討) [再掲]



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	③ 新たな拠点の整備
施策名	4. 廃校の活用

施策推進部署：検査官財課  
 関連部署：政策経営課

○現在の課題

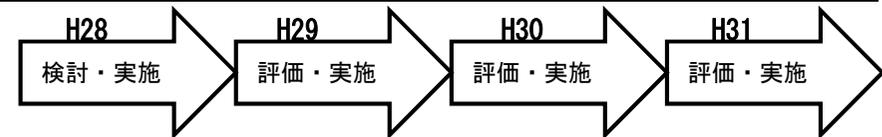
市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている。

○必要な対応

少子化の影響を受け統廃合された学校について、地域住民等との協働により、地域の拠点となる利用方法を検討し、実践する。  
 ・地域の拠点づくりに向けた用途変更等（売却、賃貸、転用）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・霞ヶ浦地区の廃校の利活用について方向性を決定する。 雇用を創出するための企業誘致 地域の拠点 観光振興のための拠点など
KPI(成果目標)	6カ所	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施 策	③ 災害に備えたまちづくり
施策名	1. 防災体制の拡充

施策推進部署：総務課 消防総務課  
 関連部署：政策経営課 生涯学習課

○現在の課題

危機管理の意識を高め、災害に対応した体制の整備など、防災に強いまちづくりが求められている。

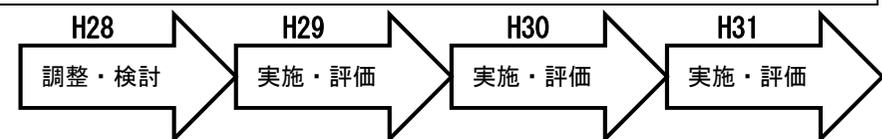
○必要な対応

高齢化が進む中、災害に備えた地域力を高める必要があるため、自主防災組織の拡充を図るとともに、民間企業等との連携体制の構築を支援する。そのため、必要となる防災資機材等の購入費や活動費への助成を行う。

- ・ 自主防災組織の拡充
- ・ 民間企業消防団の組織化
- ・ 企業等との連携強化（災害協定など）
- ・ 装備への助成（活動支援を含む。）

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災組織の拡充について自治総合センターの助成事業を活用するなど、組織率 UP に向けた取組みを行う。</li> <li>・ 企業と連携した防災訓練の取組み、災害協定の拡充など。</li> <li>・ 消防法に基づいた消防組織の設置とは別に、民間企業消防協力隊の組織化に向けた取組みを検討していく（組織の役割、連携内容、支援の方法など）。</li> </ul>
KPI (成果目標)	民間企業消防団 5 団体 自主活動実施団体 20 団体	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施 策	③災害に備えたまちづくり
施策名	2. 災害マップづくり（危険箇所・災害発生時の避難等）

施策推進部署：総務課  
 関連部署：消防総務課

○現在の課題

危機管理の意識を高め、災害に対応した体制の整備など、防災に強いまちづくりが求められている。

○必要な対応

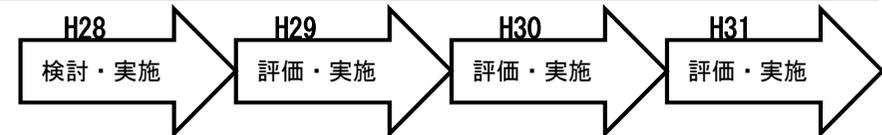
安心して住むためには地域の実情を把握することが大切であることから、地域住民による災害危険マップの作成を支援する。

特に狭あい道路や崖地等の物理的な危険な箇所に加え、一人暮らしの高齢者や障害者等の災害時の避難において支援が必要な人を把握し、その対策の検討を促す。

- ・地域コミュニティ単位のマップ作り（一人暮らし確認含む。）

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区において、防災マップの作成に関する経費の助成。</li> <li>・作成した地区防災マップの情報共有（HP 等）。</li> </ul>
KPI (成果目標)	マップ作成コミュニティ 20 団体	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	④ 環境に配慮した暮らしやすい環境づくり
施策名	1. 住居の確保(再掲)

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：

○現在の課題

地域に豊かな自然環境を有しているが、それを活かした土地利用をしていない。

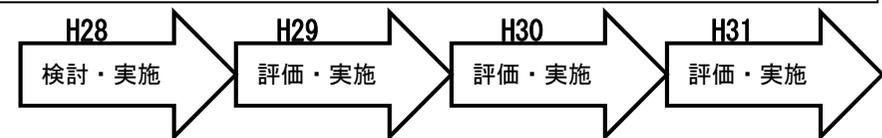
○必要な対応

現在実施している空き家バンク制度の助成対象の拡充等を図り、良質な空き家を確保するとともに、情報提供を強化しU I Jターンで新たに住居を求める人たちの定住を促進する。また、活用できそうな空き家の掘り起しについて、地域住民との協力体制を構築する。

- ・空き家バンク物件修繕補助（現行 20 万円上限）の拡充
- ・空き家バンク物件募集（ポスター・チラシ・広告等）
- ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし

○工程表

	27 年度	28 年度～31 年度
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。</li> <li>・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のPRを実施していく。</li> <li>・リフォーム助成金の拡充の検討。</li> </ul>
KPI(成果目標)	空き家バンク成約数 20 件	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	④環境に配慮した暮らしやすい環境づくり
施策名	2. エネルギーの地産地消

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：環境保全課 地方創生・事業推進担当

○現在の課題

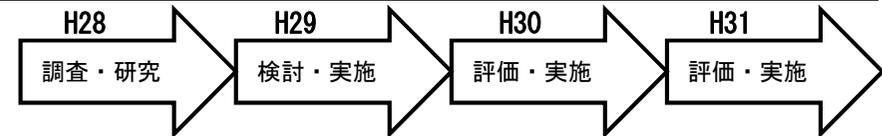
エネルギーの分散化が求められる中、エネルギーの地産地消に向けた取組みから地域のセキュリティを高めるといった観点も必要である。

○必要な対応

バイオマス等の再生可能エネルギーを活用した地域づくりを推進する。  
 ・再生可能エネルギー活用の啓発

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用に向けた取組みとして、先進地事例の調査や研究。 （生ごみを活用したメタンガスの生成によるバイオマス発電など） ・専門機関との協議。
KPI(成果目標)	再生可能エネルギー施設 1か所 実験地域の設定 1か所	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施 策	④環境に配慮した暮らしやすい環境づくり
施策名	3. 田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：農業委員会 農林水産課

○現在の課題

地域に豊かな自然環境を有しているが、それを活かした定住促進施策を実施していない。

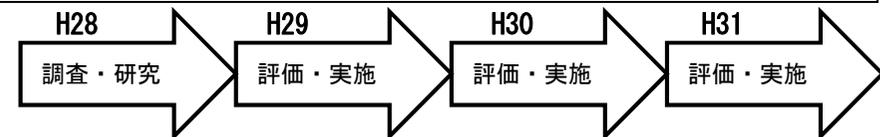
○必要な対応

スローライフを好む人の移住・定住を促進するため、農地のあつ旋や営農の支援を行う。

- ・ 小型農機具等の購入補助
- ・ 農地あつ旋の拡充

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・ 移住・定住を促進するため、農地のあつ旋、小型農機等の助成制度を構築、また、空き家バンクとの連携により、首都圏を中心に二地域居住も視野に入れた対象者の募集を行う。
KPI(成果目標)	補助件数 12 件	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施策	⑤ 公共交通ネットワーク等の充実
施策名	1. 通学しやすい環境づくり

施策推進部署：政策経営課  
 関連部署：まちづくり計画担当

○現在の課題

多くの世代を通じて、交通に不便を感じている人が多い。

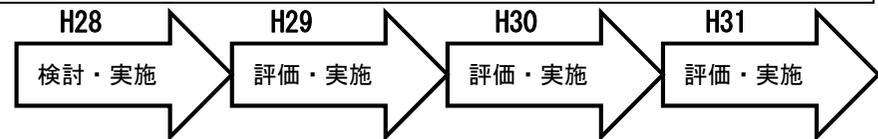
○必要な対応

通学に係る経済的負担や送迎を軽減するため、通学定期券の助成を行い、あわせて公共交通の利用促進を図る。

- ・通学定期券の助成（再掲）

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容		・学生を対象とした通学定期券の助成制度を創設 (H28年度に制度設計)
KPI(成果目標)	6～23歳人口割合 16.8%の維持（再掲）	



かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン  
 【基本目標4 安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

施 策	⑤公共交通ネットワーク等の充実
施策名	2. 生活利便性の向上

施策推進部署：まちづくり計画担当  
 関連部署：

○現在の課題

多くの世代を通じて、交通に不便を感じている人が多い。

○必要な対応

市内において安心して生活ができるよう、公共交通網の充実を図る。特に駅周辺と集落地域のアクセス強化に取り組む。

- ・市内の公共交通網の充実（市内循環バスとデマンド型タクシーの運行）
- ・神立駅のハブ化
- ・新規バス路線の設置
- ・常磐線特急・快速等の神立駅増便の要望

○工程表

	27年度	28年度～31年度
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通再編実施計画の策定</li> <li>・神立駅を中心とした公共交通網の再編成を行う。</li> <li>・路線網の再編やデマンド交通の見直しなど、地域公共交通ネットワークの再構築を行う。</li> <li>・常磐線JR神立駅 利便性向上の要望活動（特急の停車など）</li> </ul>
KPI(成果目標)	新規バス路線 1 路線新設	

